

平成28年度地方創生関連交付金

事業実施評価

平成30年3月 むつ市

■ 市内部評価凡例

<事業効果>

①	地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

<今後の方針>

①	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
②	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）
③	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））
④	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した））
⑤	事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））

(1) 地方創生加速化交付金事業に係る事業実施評価表

No.	事業名	事業の概要	事業詳細	重要業績評価指標(KPI)			市内部評価		推進会議での意見
				指標	目標指標値	実績値	事業効果	今後の方針	
1	クラウドファンディング「FAAVOLしもきた」運営事業	クラウドファンディングサイト「FAAVO(ファーボ)」において、下北5市町村が連携して下北地域のエリアオーナーとなり「FAAVOLしもきた」を運営することにより、下北地域におけるプロジェクトの発掘・支援を行い、新しいアイデアや夢を持っている人たちが資金面で諦めることなく挑戦できるように、個人・団体等に資金調達の機会を提供するものである。	○FAAVOLしもきた運営協議会負担金 ・6件のプロジェクトのリリースを支援	成功事例数	5件	4件	②地方創生に相当程度効果があった	②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)	成功事例は4件出ているが、そこから生まれた創業や雇用創出等の地域経済への影響についても、追跡する必要があると考える。
2	ぐるりんしもきた観光地域づくりプラットフォーム運営事業	下北5市町村と横浜町、民間交通事業者及び観光関連団体で組織する一般社団法人しもきたTABIあしすと(旧下北観光協議会)の会費及び事業負担金を拠出する。平成28年度から本格稼働し、地域観光のワンストップ窓口機能を確立することにより、質の高いサービスときめ細やかな観光案内等の提供が可能となり、むつ下北地域の観光振興に寄与するものである。	○下北観光協議会会費・負担金(しもきたTABIあしすと事業実績) ・下北観光プロモーション事業 ・広域パンフレット制作事業 ・リゾートあすなろ誘客宣伝推進事業 ・ポータルサイト運営事業 ・観光案内所運営事業 ・インバウンド事業	年間観光入込客数(むつ市)	970,000人	894,640人	③地方創生に効果があった	②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)	実績値が目標値に届かないだけでなく、もともとの基準値を割り込んでいるため、KPIについて継続して検証が必要。

(1) 地方創生加速化交付金事業に係る事業実施評価表

No.	事業名	事業の概要	事業詳細	重要業績評価指標(KPI)			市内部評価		推進会議での意見
				指標	目標指標値	実績値	事業効果	今後の方針	
3	下北ジオパーク構想による圏域住民総活躍社会実現に向けた地域再生事業	ジオパーク活動は、自然環境等の地域資源を未来に残しながら、その魅力を教育や観光、経済活動へつなげることで持続可能な地域の発展を目指すものである。下北全域でのジオパーク活動の更なる推進を図るため、出前講座や講演会の実施、情報発信や普及啓発活動を積極的に行う等、地域住民の関心を高めるとともに、地域外の方へも下北ジオパークの魅力と意義を伝える活動に取り組むものである。	○下北ジオパーク構想推進協議会負担金(協議会事業)	年間観光入込客数(むつ市)	970,000人	894,640人	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)	実績値が目標値に届かないだけでなく、もともとの基準値を割り込んでいるため、KPIについて継続して検証が必要。 また、ジオパークについては、指標には掲げられていないが、ガイド育成について注力して取り組むべき。
			・出前講座、現地視察 ・ジオツアー ・認定記念シンポジウム	ジオパーク認知度	60%	94%			
			○アウトリーチ活動展開事業 ・ジオパーク推進員報酬、旅費						
4	未来を担う人材育成・定着推進事業	若年層の流出は、様々な主体の担い手不足や地域活力の低下を引き起こし、人口流出に更なる拍車をかけるといった負のスパイラルへとつながることから、将来にわたって持続可能な地域社会形成のため、歯止めをかけなければならない重要な課題であり、若年層の流出に歯止めをかけるため、魅力あふれる地域づくりに努めるとともに若年層の雇用の確保に取り組むものである。	○下北サテライトプロジェクト事業	創業件数	12件	9件	③地方創生に効果があった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)	サテライトキャンパスでは、多くの学生や教職員がむつ市に向向いて活動しており、若い力の胎動に期待したい。 共育型インターンシップについては市内企業からも好評。今後は学生の県内からの流出防止という観点だけでなく、県外からの流入促進も視野に入れ取り組んでほしい。
			・高校生向け講座等の公開講座(12講座・51コマ) ・滞在型学習の支援(学生延べ641人がむつ市で活動)	本事業を通じて、市内に就職した学生・生徒数	3件	0人			
			○オール青森雇用創出連携プロジェクト事業 ・インターンシップ応援助成(1名) ・企業見学会(市内企業6社) ・企業就職セミナー(市内企業9社)						
		○起業家ワンストップ支援事業 ・創業塾、創業相談ルーム、企業セミナー ○地域産業人材育成推進事業 ・第2種放射線取扱主任者試験受験対策講習会							

(2) 地方創生推進交付金事業に係る事業実施評価表

No.	事業名	事業の概要	事業詳細	重要業績評価指標(KPI) (H28年度目標値)			市内部評価		推進会議での意見
				指標	目標指標値	実績値	事業効果	今後の方針	
1	下北ジオパークによる観光地域づくり(しもきたDMO)推進事業	別々に事業を進めている観光振興策とジオパーク活動を一体的な取組とすることで、ジオパークを核とした地域連携DMOの登録を目指し、交流人口、活動人口の拡大を実現することで、地域経済の活性化及び雇用の増加へとつなげ、将来にわたって活力ある持続可能な地域社会の形成に取り組むものである。	<ul style="list-style-type: none"> ○しもきたTABIあしすと負担金(しもきたTABIあしすと事業) ・DMO設立に向けたマーケティング専門職員の雇用 ・マーケティング等調査の実施 ○下北ジオパーク普及事業 ・ジオパーク関連図書資料の購入、展示 	年間観光入込客数(6市町村)	1,694,111人	1,913,257人	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)	KPIはいずれも達成しており、評価については妥当。 今後もインバウンド対応や「産業観光」といった新たなコンテンツの検討を通して、観光客を増やす取組を推進してほしい。
				ジオパーク認知度	60%	94%			
				着地型旅行商品ツアー実施回数	10回	10回			
2	「むつ市のうまい三本の矢」による地域ブランド化推進事業	「流通販路拡大戦略」、「農産品等の新商品開発」、「地元産品のブランド化」を中心とした取組を通じて、多様な関係者と連携を図りながら、販路開拓、6次産業化、地域ブランド開発による個々の産品や商品の知名度向上を図ることで、「むつ市」の知名度・認知度・地域ブランドの価値向上につながり、地域の「稼ぐ力」を引き出すものである。	<ul style="list-style-type: none"> ○全国販路開拓商談会 ・「本州最北端食のこだわりフェアin東京」開催 ○特産品6次化商品開発事業 ・一球入魂かぼちゃスイーツ化事業 ○海外展示商談会・見本市出展事業 ・「Japanese Foods "Premium" Trade Fair in Hong Kong」出展 ○アグリビジネス事業 ・ファンド利用希望者の募集、広報(利用者はなし) 	1次産業の生産額	4,598,530千円	4,910,000千円	②地方創生に相当程度効果があった	②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)	むつ市の基幹産業は1次産業であり、仕事が人を呼ぶということを考えれば、遊休資産をうまく活用する等により、1次産業の基盤整備を進めることで、人を呼び込んでいく必要があると考える。
				人口一人当たりの市民所得	2,331千円	2,244千円			
				域外事業者との新規取引件数	5件	27件			

(2) 地方創生推進交付金事業に係る事業実施評価表

No.	事業名	事業の概要	事業詳細	重要業績評価指標(KPI) (H28年度目標値)			市内部評価		推進会議での意見
				指標	目標指標値	実績値	事業効果	今後の方針	
3	創業×女性×移住による挑戦の地「むつ」創生事業	創業を希望する方に対する構想段階から創業初期までの伴走型の支援、創業希望者に対する無料託児サービスや子育て支援施設との連携による女性の働く場の創出、UIJターンの創業者に対するコワーキングスペースの一定期間無料提供などの取組によって、少子高齢化と人口減少による地域商業の衰退に対して、創業を支援する体制を構築し、女性及び移住者の創業施策にもつなげていくものである。	○起業家ワンストップ支援事業 ・まちの起業家育成創業支援セミナー開催 ○「新・3種の神器」商店街活性化事業 ・まちゼミ(むつ、大畑)開催	女性・移住者創業件数	10件	10件	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)	KPIは達成しているが、創業件数・相談件数ともに女性のみの実績ということで、移住者に関する実績がないため、移住施策について再考が必要と考える。
				女性・移住創業相談件数	41件	69件			
				田名部駅前通り歩行者通行量	405人	643人			
4	くまち・ひと・いるか＞イルカと人との共生によるふれあいビーチinむつわん	陸奥湾周辺海域に来遊するイルカの生態の調査・研究を行うとともに、イルカを保護し、イルカの棲む自然を守りながら教育及び観光に活用することを目的とした協議会を多様な関係者との連携により設立し、併せて、協議会の事業概要や陸奥湾に来遊するイルカが持つ魅力や可能性について、市民や関係団体等と共有するためのシンポジウムを開催する。	・先進地視察 ・むつわんイルカふれあい協議会設立総会開催 ・むつわんのイルカシンポジウム開催	川内・脇野沢地区における観光入込客数	158,733人	151,118人	③地方創生に効果があった	②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)	初年度であり、KPIは未達となったものの、観光資源として魅力的であり、既存の航路等と絡ませながら観光客増加につながる取組を推進してほしい。
				市内宿泊者数	163,554人	158,969人			
				ドルフィンウォッチングツアー参加者数	—	人			